

# 銀泉横堀ビル



## 外観

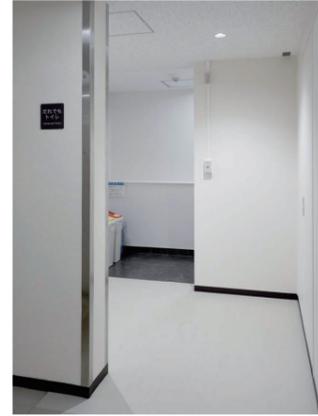
「銀泉横堀ビル」は、大阪府中央区に位置する、総タイル貼りの賃貸事業用オフィスビル。総合設計制度の公開空地として、幅6mのクスノキ並木の広い歩道を街に提供している。



## エントランス・公開空地



1986(昭和61)年、当ビルの竣工を皮切りに、現在の御堂筋ウェストと呼ばれる緑のプロムナードをもつ街づくりがスタート。現在は木々が育ち、緑のネットワークが御堂筋沿いまで続く、潤いある環境を提供している。



## 1F だれでもトイレ入口



1Fには、入居テナントの従業員が使用できる「だれでもトイレ」を新設。改修前にあった小さな男女共用トイレと湯沸室のレイアウトを根本から見直すことで、大きなドアや通路幅を確保した設計となっている。



## 1F だれでもトイレ

車いす使用者に必要なスペースの確保に加え、オストメイトに配慮した汚物流しや収納式多目的シートを設置し、さまざまな利用者に対応できる設備を完備している。



## 基準階トイレ入口

今回の改修では、内装を新しくしただけでなく、トイレ入口扉とピクトグラムも新調。ピクトグラムのデザインは、トイレだけでなく、ビル内において統一されている。



## 基準階 女性トイレ 洗面コーナー



洗面コーナーには、非接触で使用できる自動水栓と自動水石けん供給栓を採用。電気温水器も設置され、お湯が使える快適な仕様となっている。



## 基準階 女性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーの反対側には、今回の改修で全身鏡を新設している。



## 基準階 女性トイレ 大便器コーナー



大便器ブースの壁を天井まで立上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。また大便器は、連続洗浄が可能で節水効果に優れたパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用している。



## 基準階 男性トイレ 洗面コーナー



洗面コーナーには、手洗い後の水垂れを抑えるため、洗面器の間に風の吹き返しや水滴の飛散を抑制する吸引型のクリーンドライ(ハンドドライヤー)を設置。新たに歯みがき器も設け、従業員への配慮を充実させている。



## 基準階 男性トイレ 小便器コーナー



改修前にはなかった、はね出しカウンターをライニングに設置することで携帯や小物を置いたり傘を引っかけることが可能。足元には、抗菌・抗ウイルス効果で汚れやにおいの発生を抑えるハイドロセラフロアPUを設置。



## 基準階 男性トイレ 大便器ブース

女性トイレ同様、大便器は、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。便座は、押すたびに発電し、電源不要なエコリモコンを搭載したウォッシュレットPSを選定している。



## 奇数階 専有スペース 男性トイレ



奇数階共用部は女性専用トイレとしたため、専有スペースに男性トイレを増設。配管がなかったことからパイプスペースを新設、床上配管で接続。小便器はライニングを設置し給排水をつなぎ、大便器は壁掛式を選定した。

# 銀泉横堀ビル



奇数階 女性専用トイレ入口

奇数階(3・5・7F)のトイレを女性専用トイレとして改修し、ピクトグラムはもとより、通路から女性専用であることがわかるような内装に変更している。



奇数階 女性専用トイレ入口

大便器ブースが満室になれば天井の表示ランプが赤く点灯する仕組みを採用。専用トイレが2ヶ所に分かれているために、トイレに入る前に空き状況がわかる工夫がなされている。



奇数階 女性専用トイレ洗面コーナー

将来的に男性トイレに変更される場合、スタイリングコーナーのみを小便器コーナーへと改修するだけで対応できるよう、女性専用トイレと基準階男性トイレの仕様を共通化。洗面カウンターの高さは750mmとしている。



奇数階 女性専用トイレスタイリングコーナー

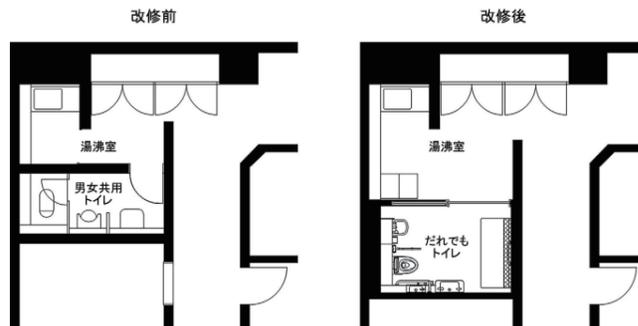
女性専用トイレへと改修されたことで、以前は小便器があった場所に、歯みがきコーナーとスタイリングコーナーを設置。オーラルケアや化粧直しに配慮したトイレとなっている。



改修前

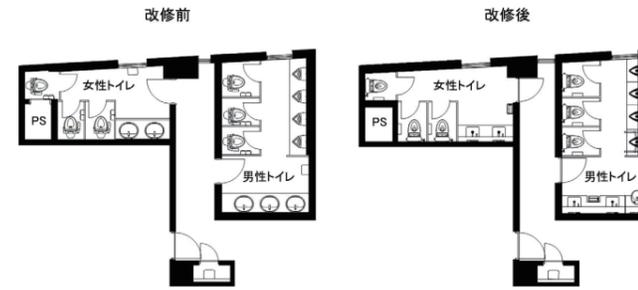


改修前も清潔に保たれていたが、ビルのバリューアップを図るため、全面タイルであった内装を含め、全面改修を行った。



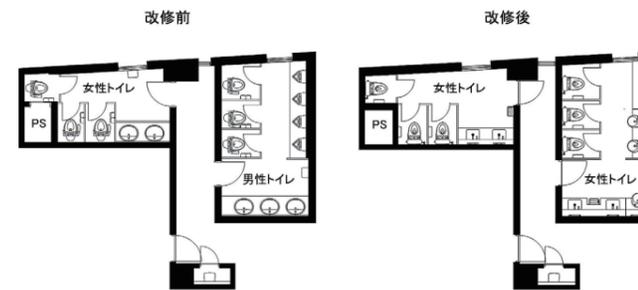
1Fトイレ図面

改修前にあった小さな男女共用トイレと湯沸室のレイアウトを根本から見直し、スペースも拡張。大きなドアや通路幅を確保しただれでもトイレを新設。湯沸室も大きくなりゴミ置き場も整備された。



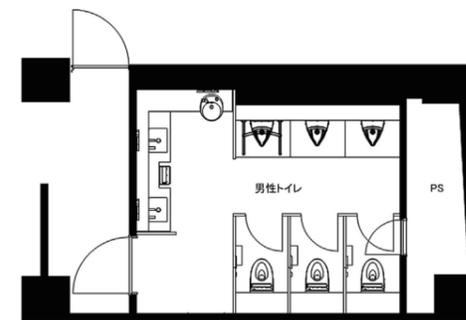
基準階トイレ図面

基準階は、既存配管を極力、以前のまま使用し、基本的に改修前のレイアウトをベースとした。男性トイレには歯みがき器を新設している。



女性専用トイレ図面

奇数階(3・5・7F)の男性トイレを女性トイレに変更し、女性専用トイレとして改修。小便器が設置されていた場所に歯みがきコーナーとスタイリングコーナーを配置している。



専有スペース男性トイレ図面

奇数階を女性トイレ専用フロアとしたため、専有スペース内に増設された男性トイレ。配管もなかったことから新たにパイプスペースを作り、屋外に新設した堅管へ排水している。

## 水まわりの特長

### 改修の経緯

「銀泉横堀ビル」は、1986(昭和61)年に賃貸事業用ビルとして建てられ、2024(令和6)年現在で築38年となる。また建物は、6mの壁面後退を行い、総合設計制度の公開空地としてクスノキ並木の広い歩道を街に提供していることなどが評価され、「第13回大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)」を受賞。「御堂筋ウェスト」と呼ばれる、潤いある緑のプロムナードの先駆けとなっている。2023(令和5)年4月にキーテナントが退去したのを機に、事業主である銀泉株式会社大阪本社としての使用が決定。水まわりを含めた大幅な改修を実施し、2024(令和6)年2月に大阪本社拠点として完成した。さらに、賃貸事業用ビルでもあるため、一部のフロアにはテナントも入居している。

### トイレの特長

従業員への配慮として、女性トイレの混雑解消のため奇数階(3・5・7F)共用部のトイレを女性専用トイレとした上で、専有スペース内に男性トイレを増設。男性トイレに歯みがき器、女性専用トイレは歯みがき器に加えスタイリングコーナーを設置。さらに電気温水器や全身鏡を設置して、快適に使用できる工夫がなされている。また、女性トイレ専用トイレと基準階男性トイレの仕様を共通化。特に、女性専用フロアのスタイリングコーナーと男性トイレの小便器部の寸法を同じにすることで、将来的に女性トイレを男性トイレに変更する必要が生じた際には、スタイリングコーナーのみの改修で変更対応できるように工夫されている。1Fには、従業員が使用できるだれでもトイレも新設された。

### 建築概要

名称	銀泉横堀ビル
所在地	大阪市中央区高麗橋4-6-2
施主	銀泉株式会社
基本設計	株式会社 日建設計
実施設計	東西建築サービス株式会社
施工	建築 東西建築サービス株式会社 設備 サノヤス・エンテック株式会社
竣工年月	(改修)2024年2月
敷地面積	2,126.45㎡
建築面積	1,301.97㎡
延床面積	12,078.60㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下1階、地上8階、塔屋1階

### おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
- 壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CSN
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AUY
- 棚付二連紙巻器:YH702、YH700AD
- 自動洗浄小便器:UFS900R
- ハイドロセラ・フロアPU:AB690BR、AB680BR
- 小便器用手すり:T112CU22
- 歯みがき器:L595
- 壁付自動水栓:TENA125A
- 自動水石けん供給栓:TLK06001J
- 電気温水器:REWF03B1R
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC430WJ、TYC320W
- コンパクト・バリアフリートイレバック:UADAK21L1A1ADD1WA
- 収納式多目的シート:EWC520ARS
- LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80017
- 全身鏡:YMK50K